



小学生部門



久寿米木優太さん
(豊田少年少女発明クラブ
豊田市立浄水小学校 4年)

文部科学
大臣賞
(最優秀賞)

ふとん干しお助け木

「重いふとんをひっくり返すのが大変」。お母さんの様子をよく観察していた久寿米木さんは、ふとんを楽に裏返して、裏表面面に日を当てることができる工夫を考えた。2本の横木とそれを連結する「お助け木」のアイデアは、小さな模型をつくってうまくできるしくみを考えたのだそう。受賞して「びっくりしたけどうれしかったです」とのこと。



横木をくると回すだけで、ふとんがひっくり返るぞ!

第20回 全国ジュニア発明展

受賞作品を一挙に紹介!

20回の節目を迎えた公益財団法人つくば科学万博記念財団主催の「全国ジュニア発明展」。今年は「家庭のお仕事を楽しく、楽にしよう」というテーマが設定された。応募作は過去最高の1万206点となり、応募作品の完成度もますます上がっているゾ。その中から見事入賞を果たした作品を紹介していくよ。まずは文部科学大臣賞を受賞した2人の作品を見てみよう。

取材・文／編集部 写真／青柳敏史



中学生部門



遠藤怜奈さん
(光輝学園つくば市立
手代木中学校 1年)

文部科学
大臣賞
(最優秀賞)

引っかからない! 折りたたみハンガー

遠藤さんの発明は実にシンプル! でも超実用的だ。ピンチハンガーを開こうとして、洗濯バサミ同士がからみあってイライラ……そんな昔からの大問題を、引っかからないようにフタをすればいい、と



というアイデアひとつで解決する発明だ。「素材や形をいろいろ試しながら、うまくいくものを探しました」と遠藤さん。今すぐにでも家で使いたい作品に仕上がった。